



奥州市江刺広瀬

昭和30年(1955年)江刺郡の1町9ヶ村を以て江刺町とな

(1875年)に合併し「広瀬村」となりました。

榎石・鴨沢にそれぞれ藩が置かれました。そして、明治8年、居を構え、さらにその後豊西邸分領として歌書・三之関・之関を構え、さらにその後豊西邸分領として歌書・三之関・三之関・歌書・榎石・鴨沢」の6郷に分かれています。豊西江戸時代、江刺41郡の中、広瀬は「一之関・二之関・三之関」の3郷を有しています。

地区内を広瀬川が貫通し、各集落に肥沃な農地をもたらし接する東西9km、南北4.5km、面積は24kmの盆地状の地域です。岩手県奥州市江刺広瀬地区は江刺の北部にあって、北上市に

表紙写真「広瀬松」

伊達藩の街道筋（岩谷堂～口内）に植えられた傘状の松。仙台初代藩主伊達政宗公がお手植えされ、5代仙台藩主 伊達吉村公が広瀬松と名命したと伝えられている。



平成31年（2019年）3月発行

編集・発行 広瀬振興会・広瀬地区センター

〒023-1133 岩手県奥州市江刺広瀬字柿ノ木443-4
TEL/FAX 0197-36-2111

歴史 奥州市江刺広瀬地区の歴史

「残されてゐるのも特徴といえます。
来たというところに、先人が造り上げた史跡等が多数あり組まれています。」

受け、現在では地区民総参加のものも保存伝承活動が積極的に昭和55年には国土庁の「郷土芸能伝承のむら」の指定を郷土芸能の宝庫と言われる地域です。

芝居・奴能などの多種多様な伝統芸能が受け継がれており、また、広瀬地区は、神楽をはじめ鹿踊・剣舞・さらに人形奥州市合併と続き、現在に至っております。

り、昭和33年(1958年)に市制施行、平成18年(2006年)

広瀬の歴史 人と自然・光り輝く郷土芸能伝承の郷

38 八幡仏（広瀬字山影）本尊不明
仏像が8体有ったが、盗難にあい現在は数体のみとなる。江刺八十八ヶ所霊場第四十一番札所

39 三ノ関館（広瀬字山影）
館主・三ノ関讀岐

40 虚空蔵堂（広瀬字山影）祭神・虚空蔵菩薩
由緒については不明。

41 金毘羅神社（広瀬字山影）祭神なし
弘法大師が合祀されている。江刺八十八ヶ所霊場第四十番札所

42 金毘羅神社（広瀬字樽輪）祭神・金毘羅大権現 大黒天
嘉永5年（1852年）伊勢参りに参加した村民が金毘羅神宮の土を買い受けこの場所に神社を建立した。

43 八幡神社（広瀬字下日向）祭神・大山祇神
元文2年（1737年）千葉家の氏神様として建立。

44 八雲神社（広瀬字下日向）祭神・八雲大神 神鏡
明治3年（1870年）千葉家の氏神様として建立。昭和48年（1973年）建替。

45 二丁目館（広瀬字日向）
岩谷堂城主江刺重恒が豊臣秀吉の奥州仕置によって追われ、この地に居を移したとされる。

46 若宮八幡神社（広瀬字下西風）祭神・八幡大菩薩 春日様
宝永7年（1710年）千葉家の氏神様として山の頂上に建立されたが、昭和57年（1982年）現在地に移転。

47 鴨沢館（広瀬字西風）
館主・菊池掃部又は菊池部貞。

48 山神社（広瀬字鴨ヶ崎）祭神なし
宝永2年（1705年）菊池家の氏神様として建立。

49 愛宕神社（広瀬字鴨ヶ崎）祭神・愛宕大権現
由緒不明。愛宕大権現騎馬像の他8体仏が祀られている。

50 大徳寺（広瀬字鴨ヶ崎）曹洞宗 本尊仏・地藏菩薩
寛永6年（1629年）正法寺十八世通岩良達和尚の開山と伝えられる。初夏には、庭の池に正法寺蓮が咲く。

51 梨の木 の 碑 跡（広瀬字西風）
「これより北和賀領」と記された追分石と伝えられるが、現在所在不明。

52 八幡神社（広瀬字西風）祭神・八幡大菩薩
由緒不明だが、戦時には参拝者が多かった。昭和16年（1941年）建替。

53 愛宕神社（広瀬字西風）祭神・軻遇突智神
由緒不明。安永5年（1776年）造立と棟札に記されている。

55 熊野神社（広瀬字七水口）祭神・熊野権現
江刺市史によると、慶応3年（1867年）蛇王大権現堂造立とある。

56 江越観音堂（広瀬字下沢）本尊・聖観音
江刺八十八ヶ所霊場第三十二番札所

57 大仙院道場（広瀬字下沢）本尊・不動尊・迦楼羅王 神仏8体
羽黒山修験者の道場と云われている。

58 八雲神社（広瀬字寺沢）祭神・牛頭天王
由緒不明。

59 西光寺（広瀬字寺沢）曹洞宗 本尊仏・聖観音
元亀2年（1571年）正法寺十一世観室良盛が廃寺光林寺跡の隣地に開山。

60 音石権現社（広瀬字七日市）祭神・権現様 愛宕様 雷神様 小牛田山神様
別名 鳴石神社
嘉祥年中（848年～850年）の開基と伝えられている。

62 洞寺跡（広瀬字平）
廃寺跡。旅人が自由に泊まることができた。

63 広瀬川
金成山を水源とし、江刺北部を流下、口内川に合流南下後、北上川に合流する。

65 上青谷観音堂（広瀬字青谷）本尊・十一面観音 弘法大師像
江刺八十八ヶ所霊場第二十九番札所

66 宇南神社（広瀬字大松）祭神・宇南権現
由緒は不明だが、棟札に元禄7年（1694年）造立と書かれている。宇南は百姓の農事の神様であり、北上平野より数百年も早く水田栽培がされていたことを意味している。

67 大日堂（広瀬字内山）祭神・大日如来
由緒不明。

68 軽石館（広瀬字内山）
別名 矢ノ沢館。城主ははっきりしないが、軽石又（治）兵衛と伝えられる。

69 石塚（広瀬字谷地田）御陵墓形式
礎石・玉石三段、上部は丸。

1 古館（広瀬字西川目）
江刺氏の館跡。館主は不明。坂上田村麻呂將軍の時代（790年代）鬼頭丸の居城という説有り。

2 追分石（広瀬字西川目）
街道の分岐点などにある石造の道しるべ。旧江刺領と旧和賀領の境に立てられた。今は、地区の会館に保管。
「右はのきた黒岩 左かとおか国見道」と刻まれている。

3 愛宕神社（広瀬字見竹）祭神・軻遇突智神 ※火の神様

5 松館（広瀬字松館）
館主は、江川善門と伝えられている。

6 八雲神社（広瀬字四釜田）祭神・八雲神（吉祥寺の守護神）
毎年正月に、御神体（木製座像約五寸）が権現舞と共に火災予防祈願のため各家を廻った。

7 吉祥寺（広瀬字四釜田）曹洞宗 本尊仏・釈迦如来
宝徳2年（1450年）正法寺二世月泉良印禪師法孫、芳山良柏和尚が開山。庭に享和3年（1803年）植樹と伝えられる銀杏の巨木が有る。

8 吉祥寺 銀杏の巨木
享和3年（1803年）吉祥寺の前庭に植樹。樹齢216余年（平成31年・2019年現在）樹齢が明らかかなものとしては旧江刺市唯一。

9 内館（広瀬字四釜田）
歌書城と言われ、城主は歌書帯刀或いは、菊田馬之允とも伝えられる。

10 岩関遺跡（広瀬字岩関）
口内川の左岸段丘上に縄文時代（中期～後期）の石器・土器や貝類が多く出土。

11 大内館（広瀬字宝良）
館主は歌書帯刀と伝えられる。

12 杉館（広瀬字根岸）
館主は不明。一説に藤原清房の後胤、古河氏の子との謂れあり。

14 一石婆石（広瀬字根岸）
寛永4年（1627年）の大地震の際、岩ノ目観音堂近くの男岡に一人の老婆が小豆一石・箕一枚・櫛一個と孫2人を連れて登ったが、そのまま岩になったという伝説がある大岩。

15 八幡神社（広瀬字新田）祭神・八幡大菩薩 愛宕大権現
享和元年（1801年）創建

18 奥州市立広瀬小学校（広瀬字柿ノ木）
明治41年（1908年）、歌書・一ノ関・石沢小学校を統合し開校。昭和54年（1979年）鉄筋コンクリート3階建てにて建て替えられた。

19 広瀬地区センター（広瀬字柿ノ木）
昭和62年（1987年）農林水産省の補助事業にて農業構造改善センターとして建設。平成元年（1989年）広瀬振興会が発足し、広瀬地区の拠点として活用。

20 天神社（広瀬字柿ノ木）祭神・菅原道真
元禄13年（1700年）菊池家の氏神様として祀る。

21 三宝院（広瀬字柿ノ木）
難波山三尊寺からの神仏20数体が祀られている。鬼棒木屋敷に建てられた羽黒派修験道場。江刺八十八ヶ所観音霊場三十七番札所

22 愛宕神社（広瀬字柿ノ木）祭神・軻遇突智神
由緒については不明。

23 三宝院荒神社（広瀬字柿ノ木）祭神・三宝荒神
由緒については不明。

24 十三墓壇（広瀬字沢）
直径約2～5m程の土塚が、約10m間隔に十三個築かれている。民間信仰、若しくは国の境界等の説がある。

25 追分石（広瀬字沢）
十三墓壇の入り口に有る石造の道しるべ。「右はくちない 左はのきた」と刻まれている。

28 大日如来堂（広瀬字中島）本尊・大日如来
文政4年（1821年）建立。如来像、不動明王も合祀。

29 八幡神社（広瀬字中島）祭神・八幡大菩薩
由緒については不明だが、戦時には参拝者が最も多かった。

30 一ノ関館（広瀬字中島）
館主・一関玄蕃と伝えられる。

31 大宮権現社（広瀬字宮田）本尊・金色宝光妙行成就如来
由緒は不明。尻掛山の山頂に建立されていたが、山火事により焼失し、現在の地に移転したと伝えられている。

34 松林地蔵堂（広瀬字沢）本尊・松林姫（坂上田村麻呂の娘）
元禄2年（1689年）造立。文政8年（1825年）火災により焼失し再建。江刺八十八ヶ所霊場第三十八番札所

35 白山姫神社（広瀬字堂ノ下）祭神・伊邪那岐命 伊邪那美命 白山姫命
由緒は不明。元禄2年（1689年）建立

37 延命地藏堂（広瀬字山影）祭神・延命地藏
別名裸地藏と云われ、家内安全、無病息災の祈願のため各家庭に貸し出された。

4 御嶽神社 (広瀬字見竹)



祭神：大山祇神・木葉咲姫尊
御嶽三歳王大権現
建立：天保年間 (1830年~1844年)
※昭和38年(1963年)火災により焼失し、昭和39年本殿・拜殿を新築

13 岩ノ目観音堂 (広瀬字根岸)



祭神：正観世音菩薩・勢至観世音
弘法大師
※江刺八十八ヶ所観音霊場三十四番札所

16 五輪塚大師堂 (広瀬字日渡)



祭神：弘法大師
建立：天保15年 (1844年)
大師堂西側に大内館主 歌書帯刀の墓所と伝えられる五輪塔がある。
※江刺八十八ヶ所観音霊場三十三番札所

17 忠魂碑 (広瀬字新田)



日清・日露・大東亜戦争で戦死、戦傷病死された人々の供養碑
建立：明治40年 (1907年)



65 観音桜 (上青谷観音堂)



上青谷観音堂 (江刺八十八ヶ所観音霊場二十九番札所) の裏にある桜の大木。樹齢約400年 (推定) とされる。

64 音石神社 (広瀬字平)



祭神：少彦名尊
弘仁2年 (811年) 慈覚大師開基と言われ、寛文4年 (1664年) 僧惠室が再興したとされる。
※江刺七観音五番札所

61 延文の碑 (広瀬字七日市)



鳴石権現社の境内にある、男石・女石・枕石と呼ばれる碑石。小石でたたくとそれぞれ異なる妙音を発する。
※昭和60年江刺市有形民俗文化財指定

26 貞治の碑 (広瀬字柿ノ木)



法華経文中の句が刻まれた碑で、隠し念仏の源流ではないかとされている。
建立：貞治3年 (1364年)
※昭和60年江刺市有形民俗文化財指定

27 牛頭天王神社 (広瀬字中島)



祭神：牛頭天王
建立：天保2年 (1831年)
昭和46年 (1971年) 建替え
※社の裏の奇岩は雄大な景観

32 尻掛山 (4地区を境とする山)



奥州富士型山、又は江刺小富士と言われている。義経が落武者となり北方に逃れる時、この山に登ったとの伝説あり。
標高243.6m

33 熊野神社 (広瀬字宮田)



祭神：伊弉册命
※江刺八十八ヶ所観音霊場三十九番札所

36 広瀬松 (広瀬字山影)



広瀬のシンボリックな「松の木」で樹齢400年以上と言われる。

54 新山神社 (広瀬字谷地田)



祭神：瀬織津姫命
嘉祥年中 (848年~851年) 慈覚大師の開基。

